

陳 情 文 書 表

受理番号	陳情4第36号	受理年月日	令和4年11月11日
件 名	東京都中学生英語スピーキングテスト（ESAT-J）の中止と、ESAT-Jの結果を都立高校入試に導入することの見送りを、都教育委員会に求める意見書に関する陳情		
<p>【陳情の趣旨】</p> <p>日頃から目黒区の文教施策にご尽力いただきありがとうございます。</p> <p>東京都教育委員会(以下都教委)は11月27日(日)、都内全公立中学3年生に対して民間事業者による英語スピーキングテスト(ESAT-J)を実施し、その結果を2023年都立高校入試の合否判定に導入する入試要項を策定しました。しかし、そもそも都教委には全公立中学3年生にESAT-Jを受けさせる権限はありません。都立高校の入試に使うことによって強制させるという「不当な支配」にあたります。また、都内公立中以外の都立高校受験者は毎年200人程度います。吃音等でESAT-Jを受けない受験生もいます。ESAT-Jの不受験者の点は、英語の学力検査で同程度の得点の他者の結果で評価されるため、不受験者が学力検査上位の受験生の総合得点を逆転する可能性があります。評価の点数化も4点刻みのため、実際の得点を正確に反映しません。公平性の確保が難しく、受験生の人権を踏みにじるものと言わざるを得ません。結果は総合得点のみしかわからず、開示請求ができるかも未定で、受験生は何の問題を間違えたかもわからず、英語力の向上に繋がりません。また、保護者に十分な説明がないまま、顔写真付きの個人情報のオンライン登録がしめ切られました。区内では、保護者の同意もなく、子どもが勝手に登録している学校もあります。過去の情報漏洩問題などにより、ベネッセに個人情報を登録したくない保護者もいますが、同意しなければ受験に不利になる可能性があるため、同意に任意性はありません。個人情報保護法に違反するという住民監査要求も提出されています。</p> <p>区教育委員会が中学校の英語スピーキングテストのとりくみについて現状を緊急に調査し、現場の声をきき、都に入試導入見送りを求める意見書を提出してください。</p> <p>【陳情事項】</p> <ol style="list-style-type: none">1 都教育委員会に対しESAT-Jを中止する英断を下し、仮に実施した場合も、都立高校入試への導入を見送るよう、意見書を提出してください。2 区教育委員会が現場の中学でのESAT-Jの取り組み状況や、高校入試の進路指導の不安などをつかみ、都教育委員会に現場の詳しい状況を伝えてください。			